

Title	「關流數學の免許段階の制定と變遷」を讀みて
Sub Title	
Author	長澤, 規矩也(Nagasawa, Kikuya)
Publisher	三田史学会
Publication year	1932
Jtitle	史学 Vol.11, No.1 (1932. 3) ,p.94- 94
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19320300-0094

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「關流數學の免許段階の制定と變遷」を讀みて

私は和算に就いて何等言ふべき知識を持たぬ。たゞ先王父が少しく和算を研べてゐて、萩原、川北兩翁の遺書、其他手富り次第に和算關係の書をも購求してゐたので、最近の和算家のことなどは、多少耳にした。先頃三上氏の論文を覽て、事先祖に關することがあるので一言したい。

三上氏は何でも論據は大抵岡本翁の言にもつて行かれる。此は翁の没後の今日、二三の人を除いては判るまいが、私は翁と同氏との關係をかなり知つてゐるので、不思議でならぬ。兩氏の關係は實は一時非常に悪かつたことが續いてゐた。翁は屢々先祖父に語つてゐられたし、私も聞いてゐた。三上氏が會はぬのであつた。翁が烟草好であるから嫌だといふ話。翁や仲に入つた先王父などには、病氣と同氏が言つてゐられ乍ら、私は東洋史談話會でよく同氏に會つた。そして歸宅して之を先祖父に語ると、いつも怪訝に堪へぬやうであつた。林博士との問題(四〇五頁)も知つてゐた。従つて免狀については三上氏に話す要がないと先祖父は私に常に語つてゐた。だから、先王父は免狀問題については同氏に云ふ筈がなく、私は見た記憶があるが、免狀は和算書全部と共に先年回祿に罹つた。同氏は有りのまゝを遺族に云々といはれるが、家父は同氏と一面識もなく、私は從來の經緯を知つてゐるので、何とも同氏には答へなかつたのである。先王父の傳記並に安井先生に頼んだ碑文の材料は、私の集めたものであるが、決して同氏の說に従つた意ではない。私は先王父を和算家とは考へない。一箇の著述家と考へてゐる。従つて免狀などにはふれなかつたまゝである。三上氏をも私は和算家とは考へない。和算史の研究者とは認める。従つて、同氏の免狀の說は何も駁しようとはしないが、四〇五至七頁の同氏の言、延いては岡本翁關係の同氏の說は、あまりにも自己本位であり、林博士に對し相變らず、含むところがあるやうな書振であるのは、私としてはうけとれぬ。少しく先王父に關することがあるので、弱輩の私の不遜な言ではあるが、一言敢て明にしたいのである。(長澤規矩也)